



令和8年度新採用予定者の皆様へ
入庁までもう少し…！この期間に横浜市社会福祉職としてのイメージをつかみ、入庁を
楽しみにしていただけるように採用予定者通信を1.2月に発行します！
今回は児童相談所編です。中央児童相談所に勤めるSさん、Mさん、Iさんに
インタビューしました！



◎児童相談所特集～児童相談所職員に聞いてみた！～

★Iさんの1日

8:30 出勤・グループミーティング
朝のミーティングで各自の情報共有を行います。

8:45 施設訪問

面接のため、児童が入所している児童養護施設に訪問します。児童の様子を確認などして、こどものための支援を進めています。



12:00 昼休憩

13:00 明日の面接に向けての準備・記録の作成・電話応対

面接に向けて、方針の確認などをを行い、事前に準備をします。



15:30 他職種カンファレンス

他職種とカンファレンスを行い、それぞれができる支援を考え、役割を明確にするなどします。



16:30 SVと情報共有・相談

改めて支援の方向性や業務内容などをスーパーバイザーに共有して、振り返りの時間を作っています。

17:15 退勤



●カンファレンスとは？

様々な機関の関係者が集まって、利用者の支援方針や状況について話し合う会議。

●SV（児童福祉司スーパーバイザー）とは？

児童相談所在籍歴5年以上の先輩職員。現場で職員の育成を行う。



★児童相談所とは？

現在、市内に4か所あり、2026年4月より新たに5か所目となる「東部児童相談所」が開所されます。

児童虐待に限らず18歳未満（原則）の子どもに関する様々な相談を受け付けています。子育て相談等の窓口は地域に多くありますが、児童相談所では、子どもの一時保護や里親への委託、児童福祉施設等への入所など、より専門的な判断や法令上の対応などが求められる相談に応じています。

★主な担当業務

◎継続ケースの地区担当

養護・非行・障害等に関する、児童や家族からの相談に対し、継続的な支援を行っています。来所面接、家庭訪問、関係機関とのカンファレンス等を通じ支援しています。

◎施設入所児童、里親委託児童の支援

入所後も、家族関係調整、家庭引き取りに向けて支援を行っています。

こども青少年局 中央児童相談所 支援係の 3名 (Mさん,Sさん,Iさん) にお聞きしました！



●職場の雰囲気はいかがですか？

Mさん：雰囲気はとても良いです。一人で行うには大変な業務が多い職場な分、一緒に助け合っていける雰囲気があります。

Sさん：業務的に大変なため、相談し合える環境で働きやすいです。頼りになる方が多いです。

Iさん：休みを取るときも、「行っておいで」と送り出してくれる方が多く、ありがとうございます。大変な電話の後にお菓子を置いてくださり、見ててくれているんだなと思い、嬉しかったです。



●休日・休憩時間の過ごし方は？

Mさん：休みの日は、旅行をすることが好きでこの前は、鎌倉まで3時間歩きました！大学生の時、社会人になると旅行に行けなくなると思っていましたが、意外と行けているのが驚きました。

Sさん：休憩時間は、周りの方々とドラマや音楽番組の話をして楽しく過ごしています。

Iさん：休日は、なるべく日常から離れることを意識して、たまに飛行機や新幹線を使った旅行を行っています。



●仕事の中で嬉しかったことは何ですか？

Mさん：支援につながった児童から「自分って大切にされているんだ」と言ってもらえたことです。

Sさん：担当の児童が困ったときに自分を頼ってくれたことです。SOSの選択肢に自分を入れてくれていることが嬉しく感じました。

Iさん：担当していたケースが他都市へ移管する際に、児童相談所も変わることを伝えると、「担当がIさんで良かった」と言ってもらえたことです。



●業務で大変だったことはありますか？

どう乗り切りましたか？

Mさん：事務処理が重なり、大変だった時がありました。係長に相談し、仕事のペースを調整することで業務をスムーズに進めるができました。

Sさん：児童相談所としての支援の方向性に迷うことがありました。職種関係なくいろんな方に相談して良い支援になるようにしました。

Iさん：反発がある方との対応で気持ち的にしんどくなるようなこともあります。SVや係長に相談して1人で抱え込まないようにしています。

■3名から新採用職員の皆様へメッセージ

自分も最初やっていけるかと不安がありましたが、いざ始めてみると周りの方々のおかげでなんとかやっていけています。今でも苦手なことはありますが、それはマイナスとしてではなく個性だと捉えられるようになりました。周りの方々を頼りながら気負いせずに、安心してもらって大丈夫です。

(Mさん)

新採用職員として、右も左もわからない状態になったとしても、周りはちゃんとわかっています。新採用職員という立場を活かして、いろんな人にたくさん聞いてコミュニケーションを取ってみてください。自信につながるはずです。ゆっくり自分のペースで働いていただけたらと思います。お待ちしています！

(Sさん)

大変なことはあるけど、「お互い様」の気持ちを職場の皆さんにはもつていて、一緒に乗り越えることができます。1人で抱え込まず、いろんな人に相談しながらケースワークを考えていける人になってほしいです。できなくて当たり前です。元気に出勤した姿で一緒にお仕事できる日を心待ちにしています。

(Iさん)